



作品ができあがったときの気分は最高

私たちのサークルは、小原公民館で毎月2回、水曜日(9:30~15:00)に開いています。

手編み、機械編み、それぞれ自由で、樋渡文子先生の指導の下、少人数ではありますが、和やかにやっています。時には語らいの場であったり、笑いが絶えないこともあります。

好きな色の糸で好きなデザインを選び、ひとつの作品ができあがったときのうれしさ、喜び、そして次回は何を編もうかしら・・・と、ささやかな夢と希望を抱きながら、みんな一生懸命に編んでいます。

また、私たちの1年間の作品は、小原地区の文化祭に展示し、地域の方々に見ていただいています。

編み物が好きな方、私たちと一緒に活動してみませんか。多くの方々の参加をお待ちしています。

問 小原公民館 ☎29-2031



市民文芸 応募方法

一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0257白石市字亘理町37-3、白石市情報センターへ。短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

高橋辰男 選

カラフルな水着購入スバッシュランドに喜寿を忘れて乙女に還る 山田 濱
 霊柩車しずかに発ては主逝くを悟りしものか 石田みどり
 犬の鳴きつづ 黒沢 修子
 人住まぬ家にも花の時は来て濃き紫のあじさいたわわ
 物荒らす猿追いまわすこの身にも威嚇されてる危険を感じる 斎藤タカ子
 玉川の磯であおぐ夏雲は父の顔あり母の顔あり 阿部みさ子
 夫と来し志津川湾の磯つたいホテルの窓にカモメ飛び交う 太田 敏子
 語り部の民話の中の言葉こそ亡き母のもの遠き日思ふ 岩松 貞子
 馬鈴薯の花紫に咲く今朝は蔵王の雪もか細くなりぬ 高野 伝
 この年に友の形見となりし百合色あざやかに香る哀しき 遠藤カシヲ
 古いぬれどころよく働く仕事あり我れの暮しは百姓なれば 川村 静恵
 評一首目。カラフルな水着によって心身共に若返った。まさにスバッシュランドの効用だろう。二首目。主人公の死を察知して泣き続ける犬。物言わぬ動物の哀れさを客観的に描写した。三首目。空き家の庭のアジサイも季節が到れば花を咲かせる。植物のおのずからなる営みを見ての感動。

俳壇

遠藤秋尾 選

短ヶ夜や橋を灯して鳥眠る 日下 文
 蚊帳の中一つの宇宙ありにけり 山家 弘子
 咲けはなを梅雨霧つゝむ白き闇 佐藤 周子
 水打って今日を感謝の夕心 川村 静恵
 紫陽花が雨の垣根を明るくし 大庭 良子

柳壇

山田風流 選

残り火をかき立て女捨てきれず 佐藤 武雄
 難聴も稀に得する事がある 阿部はぎの
 米余り実らぬ青田刈る辛さ 四竈 英夫
 年金日せめて今日だけ喰う鯉 川村 静恵
 につこりと笑いに隠す下心 大庭 良子
 腰折った分当選はそり返り 高橋 要一
 更年期漢字も歌詞も忘れそう 平間 大恵
 心までうつりますよう鏡ぶく 米沢 礼子
 携帯を相手に幸せそう顔 小野嘉津子
 我の強さ外相折れぬ鼻柱 佐藤 尚志
 評一句目。女心を余すことなく表現された。「かき立て」が効いている。二句目。難聴という不自由を生かして(?)使うことも老人の知恵。都合の悪いことは聞かぬぬりして無事通過。三句目。農政の貧困ここに極まる。減反を強い、なおかつ追い打ちをかけるように青田刈り。農民の心まで刈り取らねばよいが、「熱心な作句欲に敬意、投句数が激増しています。さらなる推敲を願います」

私たちも応援しています

国体ボランティア⑤

白石市老人クラブ連合会 女性委員会

私たちは、市内各地域にある71の単位老人クラブの女性会員約2千名で構成されています。

今回は国体選手へ、市の花である「やまぶき」の造花をプレゼントするということで、会員の上下ゆき子さん(南町)の指導を受け、6月下旬から計150名の会員で製作に当たり、先日よりやく7百本ができあがったところです。

素材は茎に針金、ほかはフラワーペーパーを使用しています。茎に花2、3個、つぼみ1個、葉4、6枚を取り付けて1本が完成。すべて手作業のため、1本を仕上げるのに3、4時間かかりました。白石での思い出を持ち続けてほしいという願いを込めて、一つひとつ丁寧に作りました。



造花には、歓迎の気持ちを歌った俳句を記した短冊を添えて選手に贈られます。この作品の製作に当たったのは次の方々です。

短冊提供(白石和紙工房・遠藤まし子さん) 俳句作句(蔵王俳句会) 短冊取り付け(白石市ボランティアみなみの会)

成功させよう!みやぎ国体白石市は「新体操競技」と「山岳競技」の開催地です。

国際コーナー International Corner



今月号から、白石市国際交流員として市役所総務課に勤務しているジャロド・ヘクターさんから、姉妹都市ハーストビル市との交流や、いろいろな国の話などについて紹介していただきます。

皆さんこんにちは!国際コーナーへようこそ。第1回目の今回は、自己紹介と私の国の紹介をします。

私はジャロド・ヘクターといます。オーストラリアのニューカッスル出身で、先月白石に着きました。しかし、日本での生活は白石が初めてではありません。大学生時代に交換留学生として、1年間函館に住んでいたことがあります。

趣味は旅行と水泳と音楽です。オーストラリアではボーイ・スカウトのメンバーだったので、キャンプをはじめ、ハイキングやアウトドアの活動が大好きです。ですから、自然が多い白石で、できる

だけこれらのことをしてみたいと思っています。

皆さんはオーストラリアについてどのくらいご存知でしょうか。ニューカッスル市は日本から南、約7,000kmの所にあつて、シドニーから北、車で2時間ぐらいかかります。ニューカッスル地域では緑が多く、きれいなビーチと国立公園が多い所です。近くのハンター・バレーに美味しいワインを作るワイナリーもあります。機会があったらぜひハンター・バレーのワインを飲んでみてください。

夏に40 を超える日は珍しくありませんが、冬も暖かいです。今、オーストラリアでは冬ですが、最低気温は15 ぐらいで住みやすいと思います。ニューカッスル市は雪が降らないので、白石スキー場でスノーボードをしてみたいです。

これからも国際交流のことについて書いていきますので、ぜひこのコーナーを読み続けてください。See you next month!